

新宿区長 あて

法人名 日本カラーアートセラピー協会
 所在地 坂町 25-1 ニューハイム坂町 2F
 (フリガナ) ハナガタ マキコ
 代表者氏名 理事長 花形 麻貴子

事業実績報告書

新宿区協働推進基金条例施行規則第19条の規定により、下記のとおり報告します。

記

1 助成対象事業

事業名	心的支援事業～みんながみんなのサポーター～ 言葉を越えた心の架け橋 「カラーアート・メンタルサポーター養成講座」
実施日時又は期間	平成25年8月～平成26年2月（6回） フォローアップ講座（平成25年12月、平成26年3月）
対象者の範囲及び人数	新宿区在住・在勤・在学の方 ストレスを感じている方
事業内容	<p>日頃ストレスを感じている全般の方を対象として、「言語を超えてカラーとアートで気持ちを吐き出し自分を見つめることが出来る方法」である「カラーアートセラピー」を学ぶ「カラーアート・メンタルサポーター養成講座」を開催する。本講座では、カラーセラピー（色彩心理療法）やアートセラピー（芸術療法）の基礎知識をはじめ、簡単な傾聴技法、手話も学んでいく。</p> <p>本講座を通じ、身近にある「色」と「アート」というツールを利用した、日常生活でも行えるセルフケアの方法を普及するとともに、身近な人のケアをすることができる、地域に密着したサポーターの養成を図っていく。</p> <p>併せて本年はろう者対象の手話通訳士付きの講座を開講しノーマライゼーションを促進することと、2回のフォローアップ講座を開講し、参加者のセルフケアの意識の向上と維持、スキルアップを目指す。</p>
具体的な活動状況	<p>内容「カラーアート・メンタルサポーター養成講座」 「ユニバーサル・メンタルケア」をテーマに、カラーセラピーやアートセラピー、簡単な傾聴技法、手話も習得できる「自分の心のセルフケア～相手へのケアサポート」の為に1日集中講座を計6回開催（各回同内容）</p> <p>【1回の流れ】 ◎12時30分～受付 12時45分～16時45分 授業</p>

	<p>◎定員 30名（四谷地域センター） 50名（新宿NPO協働推進センター）</p> <p>【カリキュラム】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、カラーアート・メンタルサポーターとは <ul style="list-style-type: none"> ・メンタルケアの必要性とメンタルサポーターの意義 ・ユニバーサルなメンタルケアとは ・カラーセラピー、アートセラピー、傾聴、手話の4つの方法紹介 2、カラーアートセラピーの実践～スクイグル描画法 3、カラーとアートに投影される自己心理分析 <ul style="list-style-type: none"> ・シンボルやカラーでわかる心の状態と解説 4、実践ロールプレイトレーニング <ul style="list-style-type: none"> ・傾聴（言語的カウンセリング）トレーニング ・カラーアートセラピー（非言語カウンセリング）トレーニング 5、ふりかえり <p>※本年度は、これまでこの講座を受講くださった方から4名が、傾聴ボランティアとしてお手伝い下さいました。</p> <p>※手話通訳士付きの回にはろう者2名が受講され、聴者の参加者の方々と共に色や絵、そして手話、傾聴を学ぶことができました。</p> <p>※2回行ったフォローアップ講座では今年度受講者だけでなく、昨年度受講者も参加され色や絵を通した心のセルフケア、身近な人への活かし方のスキル向上、意識の維持を図れました。</p>
<p>事業の成果</p>	<p>●協会の増加 →講座修了後に3名入会、傾聴ボランティアとして事業に参加され地域活動への協力と意識の向上につながりました</p> <p>●地域における協会の認知向上 →今回の参加者には、昨年度受講した地域の方に勧められての受講という方が少なからずおり、地域の方々に協会の活動が認められてきていることが分かりました。</p> <p>→新宿社会福祉協議会・聴覚障害交流コーナーの担当者の方が参加されろう者に向けた新しい取り組みについて考察頂いたり、区内保育園の指導者の方、区内の児童相談員の方、社会福祉協議会ファミリーサポートの講師の方(協会に賛同頂き入会されました)、子育て支援センターの方、障害者センターの方等、子どもから高齢者、障がい者に携わる指導者、管理者の方々からの興味、関心、協働のきっかけとなりました。</p> <p>→「新宿NPO」の冊子を見て参加された地域交流館の方から来年度の会館の講座に高齢者向けのカラーアートセラピー実施の依頼があり、現在調整中</p> <p>●協会員を含む参加者のスキル向上・活動の場の広範 →事業講座の修了・入会者がカラーアート・メンタルサポーターとして新宿ふれあいフェスタやセンターまつりに参加頂いたこと、傾聴ボ</p>

	<p>ランティアとして事業講座に参加頂いたことで、昨年度に増して、地域に密着した活動、貢献への人材抽出や育成に繋がりました。</p> <p>※後日の感想メールを資料として別添付</p> <p>●心の不調が深刻化する前段階での第一次予防、【セルフケア】の方法を、身近にある「色」と「アート」というツールを利用して日常生活でも行えるよう促進※アンケート統計資料として添付</p> <p>●リピーターの獲得 →今回フォローアップ講座を設けたことで、講座を受けてみてより興味を深めた方、さらに学びたい方をその場で次のステップへ誘導できるようになりました。その甲斐あって、講座を通じた当協会のセミナー（フォローアップ講座も含む）へのリピート率は昨年度 8 名⇒今年度 47 名約 6 倍となりました。</p> <p>●その他地域への拡大と課題抽出 「新宿 NPO」の冊子を見た福生市職員の方から依頼を受け、公民館での託児付親子のアートセラピー講座の実施につながった。（11 月～12 月で 5 回連続講座を実施） 高齢者向けの施設(西早稻田)からの依頼と共に、当事業がどの層の課題とニーズにマッチするか、参加者年齢層の集計と共に確認できた ※参加者集計報告書として別添付</p>
--	--

2 助成対象事業費内訳（実績）

※ 内訳は、できるだけ「単価×数量」で示してください。

※ 1 万円以上のものについては、領収書（写し可）を添付してください。

収入	経 費	積算根拠（内訳）	金 額
	団体負担金		140,935 円
	参加費・資料代等	認定証・資料代 500 円×115 名=57,500 円 フォローアップ講座参加費 500 円×47 名=23,500 円	81,000 円
	その他の収入		円
	協働推進基金助成金	助成金申請額	500,000 円
	計		721,935 円

支出(助成の対象になる事業費の内訳)	費 目	決算額	内 訳
	会議費	16,350 円	◎本講座 四谷地域センター（集会室4 午前午後1 午後2） 2400 円×4 回=9,600 円 NPO 協働推進センター501 会議室（午前午後） 1450 円×2 回=2,900 円 ◎フォローアップ講座 四谷地域センター（集会室4 午前午後1 午後2） 2400 円×1 回=2400 円 NPO 協働推進センター501 会議室（午前午後） 1450 円×1 回=1450 円
	宣伝費	77,179 円	・周知用チラシ印刷(2 枚組 1778 部) 55,118 円 ・追加チラシ印刷(プリンタ不調の為業者発注カラー一枚目のみ 300 部≪ポイント使用 6,500+300 部≪6,561)13,061 円 ・ポスター中大 (A2 印刷 3,000 円×3 枚) 9,000 円
	リース費	0 円	
	消耗品費	26,111 円	・周知用 A4 用紙 3,000 枚 1,788 円 (1 セット 500 枚単価 298 円×6 個) ・修了証 A4 厚紙用紙 10,956 円 (1 セット 10 枚単価 498 円×22 個) ・テキスト作成 230 名分 (参加者、講師、スタッフ、予備分) (袋とじファイル 1 セット 10 枚単価 490 円×23 個=11,270 円) ◎棒状マグネット 1 セット 309 円 ◎講座用資料として A4 用紙一人 12 枚×230 名 2760 枚 1 セット 500 枚単価 298 円×6 個) =1,788 円 ≪内訳≫ 講座用(テキスト 9 枚+アンケート・説明資料 2 枚) DM 送付用(送付状 1 枚)

	謝礼	413,400 円	◎講座 講師 1 名ファシリテーター1 名 25,000 円×2 人×6 回=300,000 円 ボランティア謝礼 3,000 円×16 回=48,000 円 手話通訳士 14,700 円/4 時間×2 名=29,400 円 ◎勉強会 講師 1 名 6,000 円×3 名×2 回=36,000 円
	人件費	120,000 円	1,000 円×4 時間×4 人×6 回=96,000 円 (会場 1、受付 1、ヘルプ 2 名) 1,000 円×4 時間×4 人×1 日=16,000 円 (事前打合せ、準備、会議) 1,000 円×4 時間×1 人×2 日=8,000 円 (資料等事前準備、確認)
	材料費	12,260 円	アート画材 9,960 円 (色鉛筆単価 498 円×20 個) ※必要分 50 個のうち 30 個は昨年購入分を利用 画用紙 100 円×23 セット=2,300 円
	交通費	10,280 円	講師当日交通費 ◎四谷地域センター 田中氏 (仙川～新宿御苑前 430 円×2×4 回) 3,440 円 本宮氏 (新浦安～新宿御苑前 480 円×2×4 回) 3,840 円 ◎協働推進センター 田中氏 (仙川～新宿御苑前 300 円×2×2 回) 1,200 円 本宮氏 (新浦安～新宿御苑前 450 円×2×2 回) 1,800 円
	その他諸経費	46,355 円	テキスト 9 ページ×137 部×23 円=28,359 円 修了証印刷代(99 枚)396 円 郵便代(25 年 7 月～26 年 2 月分)80 円×220 名=17,600 円
	助成対象事業費 (小計)	721,935 円	
	余 剰 金	円	
	助成対象外事業費	円	
	事 業 総 額		721,935 円

3 助成事業の成果と課題

評価のポイント	自己評価
<p>事業を計画した当初に決めた目標について、どこまで達成できたか。</p>	<p>当事業の実施目標は以下の4点</p> <ul style="list-style-type: none"> ①参加者の集客 ②地域を主体とした宣伝 ③マンパワーの拡大 ④団体活動の認知 <p>①②については、昨年度の同事業より多くの箇所にチラシを設置はしたが、定員数に見合った集客は難航。目標を定員の8割としていたが、結果は6割程度となった。</p> <p>③については、意図していた協会への入会やファシリテーター等に参加される方も増え、その点は達成。ただ、会員数の増加は昨年度と同数で伸びなかった。</p> <p>④においては地域住民だけでなく、各NPO法人との新規交流や子ども、高齢者、障がい者施設の指導者、管理者の層にも認知頂き問い合わせやご依頼を頂くなどほぼ達成。</p> <p>また、アンケート集計にもあるように日常生活でもできるセルフケアの方法を学んでいただくという点で、非常によく達成できた。</p>
<p>地域にどのような効果があったか、又は今後見込まれる効果は何か。</p>	<p>◎昨年度に引き続き、参加者アンケートにもあるように、心の不調が深刻化する前段階での第一次予防としての【セルフケア】の方法を、身近にある「色」と「アート」というツールを利用して生活に簡単に活かしていける、子どもにやってみたい、介護で利用したい、職場で使ってみたいという声が多く、実施後のイベント等にもリピート頂いた。 (「事業の成果」の欄に記載)</p> <p>◎子ども、高齢者、障がい者までユニバーサルにサポートという点で、高齢者向け地域交流会館の方、子育て支援センターの職員の方、障害者センターの方、社会福祉協議会の聴覚障害コーナーの方、区内保育園の方等に参加頂けた。</p> <p>◎年齢層は昨年同様子育て世代の30代40次に次ぎ、60代の層が上位(アンケート統計資料参照)ということから、子育てや介護、高齢化等に伴う孤立化、ストレス等で悩みを抱える方への必要性を再確認、色や絵を通して気軽に第三者に話すこと、話を聴いてあげることの大切さを体感してもらえた。</p>

	<p>昨年度に引き続き事業実施後に社会福祉協議会より、若者のつどいへの出展依頼やセンターまつりでの出展依頼、また、地域交流会館での来年度の高齢者向けカラーアートセラピー実施等お問い合わせを頂くなど十分な効果が得られた。</p> <p>今後の展望として、これら地域のカラーアート・メンタルを促進、家族や身近な方々へのケアの促進、スキルを活かして地域のコミュニケーション活性や、修了者それぞれが子育て支援センター、高齢者施設等でのコミュニティに色や絵を通したセルフケアを積極的に広範頂いたり、地域でのイベントや交流会等への参加により地域全体での「気づき」や「声がけ」などへの意識の向上、更に当事業「カラーアート・メンタルサポーター養成講座」でのファシリテーターや傾聴ボランティア等への参加、また各団体や企業での当講座開催が見込まれる。</p>
<p>費用対効果は適正であったか。</p>	<p>昨年度に広報等で知ってはいたが参加できなかった方が今年度に参加されたり、フォローアップ講座で疑問が解決でき自信を持って周りに活かせる等の声が多かったことがセルフケアの促進という目的に合った今年度の大きな成果である。</p> <p>またアンケート結果等からも、講座受講後に色やアート、手話などに興味を持ち正会員への入会、団体の他講座等へのご参加及び協会の活動にボランティア参加くださった方も多かったこと、また地域の施設からの企画のご依頼等、費用に見合った成果は得られ適正効果と考える。</p>
<p>新たに気づいた課題・問題点は何か。また、どのような対策が考えられるか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の予想以上の申し込みを受けて、広い定員数(50)の会場も設けたが、事業日の日程を三連休に組んでしまったことや、交通の便もあり予想した参加人数を獲得できなかった。 対象者を絞って開催、連続講座を検討するなど対策を考察中である。 ・当日のキャンセル(連絡なし、連絡あり含む)が昨年度に引き続き毎回あった。申込時に変更キャンセルの場合は連絡下さいと案内しているため、昨年度と比べ電話で連絡を頂けた数は多かったが、前日、当日であるとテキストや修了証を既に印刷しているため経費がかかってしまう点について検討中。 ・昨年度に引き続き託児希望者が多く(四谷地域セ

	<p>ンターのみ)社会福祉協議会の「しずく」でのボランティア募集(無償)等も利用させて頂いたがうまくマッチ出来なかった点と、当日体調を崩され保育キャンセルの場合もあり不確定な点に関して要検討。</p> <p>これは社会福祉協議会のファミリーサポートを事前に紹介しては?という参加者の方からの提案もあり、ストレスを抱える子育て世代の親御さんがもっと気軽に参加できるよう、ファミリーサポートの方と現在打合せをしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の課題であった継続参加やリピーター参加に関してはフォローアップ講座の開講により解決できたが、その中で、他のアートセラピーも学びたい、もっと色の意味や活かし方を知りたい等の声が多く、フォローアップ講座の内容を本講座の復習と更に応用のアートセラピーを実施して連続講座として提供することで要望に応え、更にリピーターを確実に集客し参加者数の増員に繋げていくことを検討中。 ・手話通訳士を入れてのろう者と聴者が共に学べる回にて聴者にとってのノーマライゼーションは図れ、参加されたろう者も色や絵を学ぶことの満足感は得て頂いたが、傾聴のロールプレイの際にろう者と聴者が手話通訳士を挟んで行うことは、心理カウンセリング等の経験のない一般の方ではハードルが高かったことと、ろう者同士の傾聴技法と健常者の傾聴技法の差異(伝え返し、という技法はろう者はあまり行わないなど)があり、今後同内容で実施することは難しいことが見えてきた。
<p>理解者や支援者が広がったか。</p>	<p>この事業を通じて協会の活動に賛同し、会員になられた方も昨年に引き続き 3 名、また地域の様々な団体、施設から協会の活動に興味を持ってもらえたことは大きな理解を得られたことと感謝している。</p> <p>また、昨年に引き続きの事業であるためも認知や信頼度がより高まったことが上記の最大の理由と考えます。</p> <p>やむを得ずキャンセルされた方々からの「来年もありますか?」の声にそれを強く感じております。</p> <p>詳細は「事業の成果」「地域への効果」の欄に記載。</p>

<p>事務局の執行体制は十分だったか。</p>	<p>講座当日において受付時間が 15 分と短かった為受付業務の混雑や道を迷われて電話頂く方への対応等、十分な人数での対応ではない回もあった。更に役割を明確且つ簡潔にする、ボランティアスタッフの増員等で対策していきたい。</p>
<p>今回の事業を次年度以降も継続していく場合、助成金だけに依存せず、今後も安定的に事業を継続するための財源確保等に向けた取り組みはなされていたか。</p>	<p>色や絵を通した心のケアのメソッドや必要性、対象者や活用事例等を、各地域の交流会やイベントにて積極的にプレゼンテーションさせて頂くことに努力しました。</p> <p>※2月に行われた企業と NPO のキャラバン等また子育て支援センター等に積極的にアプローチさせて頂き今後の事業自立に向けての具体的な提案を行っております。</p> <p>※高齢者向け、西早稲田交流会館では館長より次年度のカラートセラピー実施依頼を受け現在打合せ中。</p> <p>また、他地域に向けてもプレゼンテーションの幅を広げることで事業の拡大に向けて調査中です。</p> <p>※福生市では親子のアートセラピー講座を依頼を受け実施</p> <p>次年度以降も継続していくためには、①2年間の集計から、「対象者」を絞って実施、②「連続講座」としてのスタイルも検討し多種のアートセラピーも盛り込み参加者の増員、リポートを図っていきます。</p>
<p>その他</p>	<p>ボランティアスタッフ 鈴木純子、伊藤ふみえ、伊藤伸子、中里慶、高橋尚子、佐藤美奈子、野間口百合</p>

※別添資料として添付します。

- ちらし
- テキスト
- 修了証
- 参加者アンケート(統計及び実物抜粋)
- 参加者及び入会者講座の感想文
- 講座写真
- 人件費・ボランティアデータ

* 事業の成果物(冊子など)又は、事業の開催時の写真など提出できるものがある場合は添付してください。

* 参加者の意見なども報告してください。